

第 123 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

令和元年 11 月 29 日（木）～12 月 2 日（月）

中部大学 春日井キャンパス（プラズマ・核融合学会第 36 回年会）

2. 来訪者 80 名程度

3. 説明概要

プラズマ・核融合学会第 36 回年会において、ITER 計画に関するポスター、ITER 模型の展示、パンフレット等の配布を行い、ITER 計画の概要、ITER 国内機関として機器の製作状況及び調達活動、ITER 機構職員数の現状、ITER 機構職員公募に関して説明を行った。また、建設中の ITER サイトの様子を見ることができる VR 体験コーナーを設けた。

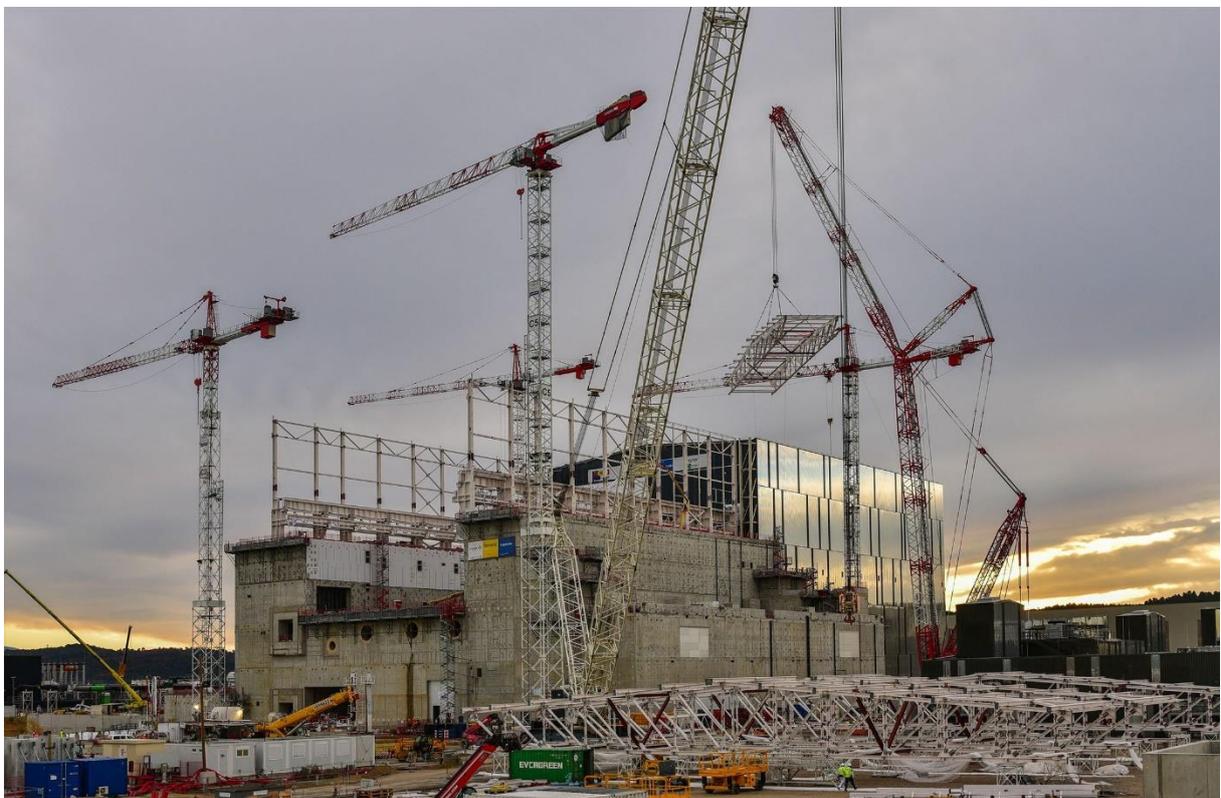
（ITER 計画管理グループ 大原、ITER 人材・広報戦略グループ 會澤）

4. 主な Q&A

Q: ITER の進捗状況を教えてください。

A: 2019 年 11 月に開催された ITER 理事会において、2025 年のファーストプラズマに向けた進捗率は 65%であると発表されました。機器の製作については、日本が担当するトロイダル磁場コイルをはじめ、各極が担当する機器の製作が進展していることなどが評価されています。

ITER サイトにおいても、トカマク建屋の屋根の設置工事が始まるなど日々建設が進められています（図 1）。



写真：ITER 機構提供

図 1 トカマク建屋の建設の様子（2019 年 12 月撮影）

Q: ITER 機構はどのような機関ですか？

A: ITER 機構は、ITER 協定という国際条約により設立され、ITER 計画の主体となる国際機関です。ITER 協定に加盟する日本、欧州連合 (EU)、米国、ロシア、中国、韓国、インドの 7 極の国内機関と連携して ITER の建設・運転を進めています。

ITER 機構では、ITER 計画参加極から公募した 900 名以上の職員が勤務しており、そのうち邦人職員は約 30 名です。なお、ITER 機構職員は随時募集しておりますので、ぜひご検討ください。

ITER 機構職員公募のご案内: http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/staff/page6_2.html

Q: インターンシップはどのように参加できますか？

A: ITER 機構のインターンシップは、博士課程、修士課程、大学学部生、高校生の学生の皆様を対象に募集しています。2019 年 11 月末より 2020 年の公募が開始され、対象となる分野は機械工学、広報、計測、解析、品質保証、IT など多岐に渡ります。ITER 日本国内機関では応募に関する支援などを行っておりますので、ぜひご活用ください。詳細については ITER Japan ウェブサイトをご覧ください。

ITER Japan ウェブサイト: http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/staff/internship_program.html

5. 展示会の様子

